

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	国際マルチビジネス専門学校
設置者名	学校法人 東杜学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
商業実務専門課程	国際観光学科 トラベル専攻	夜・通信	7	7	
	国際観光学科 グランドスタッフ専攻	夜・通信	7	7	
	国際観光学科 鉄道サービス専攻	夜・通信	7	7	
	国際観光学科 トラベルキャリア専攻	夜・通信	4	4	
商業実務専門課程	国際ホテル学科 ホテル専攻	夜・通信	7	7	
	国際ホテル学科 料飲サービス専攻	夜・通信	7	7	
	国際ホテル学科 ホテル外国語専攻	夜・通信	7	7	
	国際ホテル学科 ウェディング専攻	夜・通信	7	7	
	国際ホテル学科 ホテルキャリア専攻	夜・通信	4	4	
商業実務専門課程	国際コミュニケーション学科 英語留学コース キャリアデザイン専攻	夜・通信	0	7	※
	国際コミュニケーション学科 英語留学コース 大学編入学専攻	夜・通信	0	7	※
	国際コミュニケーション学科 英語留学コース 修業年限1年コース	夜・通信	0	4	※
	国際コミュニケーション学科 韓国語留学コース キャリアデザイン専攻	夜・通信	0	7	※
	国際コミュニケーション学科 韓国語留学コース 大学編入学専攻	夜・通信	0	7	※

商業実務専門課程	国際コミュニケーション学科 韓国語留学コース 修業年限1年コース	夜・通信	0	4	※
	国際コミュニケーション学科 多言語コミュニケーションコース キャリアデザイン専攻	夜・通信	0	7	※
	国際コミュニケーション学科 多言語コミュニケーションコース 大学編入学専攻	夜・通信	0	7	※
	国際コミュニケーション学科 多言語コミュニケーションコース 修業年限1年コース	夜・通信	0	4	※
商業実務専門課程	ファッションビジネス学科 ファッションアドバイザー専攻	夜・通信	8	7	
	ファッションビジネス学科 トータルコーディネーター専攻	夜・通信	8	7	
	ファッションビジネス学科 ファッションキャリア専攻	夜・通信	4	4	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ <http://www.mbc.ac.jp>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名：国際コミュニケーション学科

(困難である理由)

国際コミュニケーション学科は、特定の職業を想定せず、専ら言語に関する知識・技能の修得を目的としているため、実務経験を有する教員による授業科目を配置することが困難である。

英語留学コース・韓国語留学コースでは、1年次に海外留学を必修としており、学生が実用的な言語の技能を修得するための学習環境を整備している。

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	国際マルチビジネス専門学校
設置者名	学校法人 東杜学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ	http://www.mbc.ac.jp
--------	---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	税理士	2023. 7. 16 ～2026 定時 評議員会終結 の時まで	組織運営体制に対する チェック機能
非常勤	公益財団法人役員	2024. 3. 23 ～2026 定時 評議員会終結 の時まで	組織運営体制に対する チェック機能
非常勤	会社役員	2024. 5. 31 ～2026 定時 評議員会終結 の時まで	組織運営体制に対する チェック機能
非常勤	会社員	2023. 7. 16 ～2026 定時 評議員会終結 の時まで	組織運営体制に対する チェック機能
非常勤	大学名誉教授	2023. 7. 16 ～2026 定時 評議員会終結 の時まで	組織運営体制に対する チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	国際マルチビジネス専門学校
設置者名	学校法人 東杜学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) シラバスの作成に当たっては、担当教員にシラバスの共通フォーマットを配布し、年間授業計画、担当教員の実務経験の有無、学習到達目標、授業の進め方、試験の実施方法、成績評価方法等を具体的に記載してもらい、その内容を教務部にて精査した上でホームページ上に公表することとする。 作成時期：前期分（4月～6月）／ 後期分（8月～10月） 公表時期：前期分（7月下旬）／ 後期分（10月下旬）	
授業計画書の公表方法	ホームページ http://www.mbc.ac.jp
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ◎本校は、各学年において総時間数の80%以上の履修及び単位制とする。 ◎単位修得の規定は次の通りとする。 ● 各授業科目については、以下2つの条件が認定された場合、単位修得となる。 ・学期ごとの出席率が80%以上であること。 ・学期末試験の評価が60点以上であること。 ● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。 ● 各種検定試験に合格した場合。 ◎学期中の出席率の開示はしない。 ※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本校では、GPAによる成績評価を実施している。

GPAの算出方法は以下の通りである。

①科目ごとに期末試験の得点を以下の5段階に分け、GP (Grade Point) を設定する。

期末試験の得点	評価	GP
90～100	S 特に優れた成績である	4
80～89	A 優れた成績である	3
70～79	B 概ね妥当な成績である	2
60～69	C 合格に必要な最低限度を満たした成績である	1
0～59	F 合格には至らない成績である	0

※出席率 80%以上が評価の前提であり、出席率 80%未満の科目はすべて不可 (F) とする。

②以下の計算式により GPA を算出する。

$$\text{GPA} = \frac{(\text{各科目の単位数} \times \text{GP}) \text{の合計}}{\text{履修した講義の総単位数}}$$

客観的な指標の
算出方法の公表方法

ホームページ <http://www.mbc.ac.jp>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。

進級・卒業の認定

◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。

◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。

◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号 (2 年課程のみ) を授与する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

ホームページ <http://www.mbc.ac.jp>

様式第 2 号の 4－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 4－①を用いること。

学校名	国際マルチビジネス専門学校
設置者名	学校法人 東杜学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ http://www.mbc.ac.jp
収支計算書又は損益計算書	ホームページ http://www.mbc.ac.jp
財産目録	ホームページ http://www.mbc.ac.jp
事業報告書	ホームページ http://www.mbc.ac.jp
監事による監査報告（書）	ホームページ http://www.mbc.ac.jp

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程		国際観光学科 トラベル専攻		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数			開設している授業の種類				
					講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	62 単位			36 単位	35 単位	1 単位	0 単位	0 単位
					72 単位				
学生総定員数		学生実員		うち留学生数		専任教員数		兼任教員数	
28 人の内数		13 人		0 人		2 人		22 人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）									
（概要） ◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。 ◎授業は 1 時限 70 分とする。 ◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。 ＜昼間部＞ 1 時限 9：20～10：30 2 時限 10：40～11：50 昼休み 11：50～12：50 3 時限 12：50～14：00 4 時限 14：10～15：20 5 時限 15：30～16：40									
成績評価の基準・方法									
（概要） ◎本校は、各学年において総時間数の 80%以上の履修及び単位制とする。 ◎単位修得の規定は次の通りとする。 ● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。 ・学期ごとの出席率が 80%以上であること。 ・学期末試験の評価が 60 点以上であること。 ● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。 ● 各種検定試験に合格した場合。 ◎学期中の出席率の開示はしない。 ※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。 ◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。									

卒業・進級の認定基準
(概要) 本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2 年課程のみ）を授与する。
学修支援等
(概要) 入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアコンサルタントによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9 人 (100%)	0 人 (0%)	9 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容)			
卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
国内旅行業務取扱管理者、総合旅程管理主任者、INFINI/able 検定、等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16 人	1 人	6.3%
(中途退学の主な理由)		
進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
早期面談、保護者連絡・面談、学費分割納入相談、キャリアコンサルタントによるカウンセリング、休学の実施、等		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程		国際観光学科 グランドスタッフ専攻		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数			開設している授業の種類				
					講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	62 単位			37 単位	34 単位	1 単位	0 単位	0 単位
					72 単位				
学生総定員数		学生実員		うち留学生数		専任教員数		兼任教員数	
28 人の内数		2 人		0 人		2 人		22 人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）									
（概要） ◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。 ◎授業は 1 時限 70 分とする。 ◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。 ＜昼間部＞ 1 時限 9：20～10：30 2 時限 10：40～11：50 昼休み 11：50～12：50 3 時限 12：50～14：00 4 時限 14：10～15：20 5 時限 15：30～16：40									
成績評価の基準・方法									
（概要） ◎本校は、各学年において総時間数の 80%以上の履修及び単位制とする。 ◎単位修得の規定は次の通りとする。 ● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。 ・学期ごとの出席率が 80%以上であること。 ・学期末試験の評価が 60 点以上であること。 ● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。 ● 各種検定試験に合格した場合。									
◎学期中の出席率の開示はしない。									
※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。									
◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。									

卒業・進級の認定基準
(概要) 本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2 年課程のみ）を授与する。
学修支援等
(概要) 入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアコンサルタントによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2 人 (100%)	0 人 (0%)	2 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容) 卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国内旅行業務取扱管理者、総合旅程管理主任者、INFINI/able 検定、等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期面談、保護者連絡・面談、学費分割納入相談、キャリアコンサルタントによるカウンセリング、休学の実施、等		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程		国際観光学科 鉄道サービス専攻		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数			開設している授業の種類				
					講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	62 単位			37 単位	34 単位	1 単位	0 単位	0 単位
					72 単位				
学生総定員数		学生実員		うち留学生数		専任教員数		兼任教員数	
28 人の内数		0 人		0 人		2 人		22 人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）									
（概要） ◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。 ◎授業は 1 時限 70 分とする。 ◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。 ＜昼間部＞ 1 時限 9：20～10：30 2 時限 10：40～11：50 昼休み 11：50～12：50 3 時限 12：50～14：00 4 時限 14：10～15：20 5 時限 15：30～16：40									
成績評価の基準・方法									
（概要） ◎本校は、各学年において総時間数の 80％以上の履修及び単位制とする。 ◎単位修得の規定は次の通りとする。 ● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。 ・学期ごとの出席率が 80％以上であること。 ・学期末試験の評価が 60 点以上であること。 ● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。 ● 各種検定試験に合格した場合。 ◎学期中の出席率の開示はしない。 ※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。 ◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。									

卒業・進級の認定基準
(概要) 本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2 年課程のみ）を授与する。
学修支援等
(概要) 入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアコンサルタントによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2 人 (100%)	0 人 (0%)	2 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容) 卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国内旅行業務取扱管理者、総合旅程管理主任者、INFINI/able 検定、等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期面談、保護者連絡・面談、学費分割納入相談、キャリアコンサルタントによるカウンセリング、休学の実施、等		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程	国際観光学科 トラベルキャリア専攻				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼間	31 単位	19 単位	18 単位	1 単位	0 単位	0 単位
			38 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
28 人		0 人	0 人	2 人	22 人	24 人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
（概要） ◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。 ◎授業は 1 時限 70 分とする。 ◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。 ＜昼間部＞ 1 時限 9：20～10：30 2 時限 10：40～11：50 昼休み 11：50～12：50 3 時限 12：50～14：00 4 時限 14：10～15：20 5 時限 15：30～16：40							
成績評価の基準・方法							
（概要） ◎本校は、各学年において総時間数の 80％以上の履修及び単位制とする。 ◎単位修得の規定は次の通りとする。 ● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。 ・学期ごとの出席率が 80％以上であること。 ・学期末試験の評価が 60 点以上であること。 ● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。 ● 各種検定試験に合格した場合。 ◎学期中の出席率の開示はしない。 ※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。 ◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。							

卒業・進級の認定基準
(概要) 本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書を授与する。
学修支援等
(概要) 入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアコンサルタントによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容) 卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国内旅行業務取扱管理者、総合旅程管理主任者、INFINI/able 検定、等			
(備考)（任意記載事項） 2025 年度に在籍者がいなかったため、卒業生、中途退学者なし。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期面談、保護者連絡・面談、学費分割納入相談、キャリアコンサルタントによるカウンセリング、休学の実施、等		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	国際ホテル学科 ホテル専攻		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	62 単位		21 単位	44 単位	2 単位	0 単位	0 単位
				67 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
58 人の内数		48 人	0 人	4 人	18 人	22 人		
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）								
（概要） ◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。 ◎授業は 1 時限 70 分とする。 ◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。 ＜昼間部＞ 1 時限 9：20～10：30 2 時限 10：40～11：50 昼休み 11：50～12：50 3 時限 12：50～14：00 4 時限 14：10～15：20 5 時限 15：30～16：40								
成績評価の基準・方法								
（概要） ◎本校は、各学年において総時間数の 80％以上の履修及び単位制とする。 ◎単位修得の規定は次の通りとする。 ● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。 ・学期ごとの出席率が 80％以上であること。 ・学期末試験の評価が 60 点以上であること。 ● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。 ● 各種検定試験に合格した場合。 ◎学期中の出席率の開示はしない。 ※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。 ◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。								

卒業・進級の認定基準
(概要) 本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2 年課程のみ）を授与する。
学修支援等
(概要) 入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアコンサルタントによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14 人 (100%)	0 人 (0%)	12 人 (85.7%)	2 人 (14.3%)
(主な就職、業界等) 旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容) 卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）) ホテルビジネス実務検定、レストランサービス技能検定、和食検定、等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
41 人	2 人	4.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期面談、保護者連絡・面談、学費分割納入相談、キャリアコンサルタントによるカウンセリング、休学の実施、等		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程	国際ホテル学科 料飲サービス専攻		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	62 単位	19 単位	47 単位	2 単位	0 単位	0 単位
			68 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
58 人以内		2 人	0 人	4 人	18 人	22 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

(概要)

◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。

◎授業は 1 時限 70 分とする。

◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。

<昼間部>

1 時限 9：20～10：30

2 時限 10：40～11：50

昼休み 11：50～12：50

3 時限 12：50～14：00

4 時限 14：10～15：20

5 時限 15：30～16：40

成績評価の基準・方法	
(概要)	
◎本校は、各学年において総時間数の 80%以上の履修及び単位制とする。	
◎単位修得の規定は次の通りとする。	
● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。	
・学期ごとの出席率が 80%以上であること。	
・学期末試験の評価が 60 点以上であること。	
● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。	
● 各種検定試験に合格した場合。	
◎学期中の出席率の開示はしない。	
※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。	
◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。	

卒業・進級の認定基準
(概要) 本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2 年課程のみ）を授与する。
学修支援等
(概要) 入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアコンサルタントによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1 人 (100%)	0 人 (0%)	1 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容) 卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）) ホテルビジネス実務検定、レストランサービス技能検定、和食検定、等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5 人	4 人	80.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期面談、保護者連絡・面談、学費分割納入相談、キャリアコンサルタントによるカウンセリング、休学の実施、等		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程	国際ホテル学科 ホテル外国語専攻		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	62 単位	24 単位	44 単位	2 単位	0 単位	0 単位
			70 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
58 人の内数		6 人	0 人	4 人	18 人	22 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

(概要)

◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。

◎授業は 1 時限 70 分とする。

◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。

<昼間部>

1 時限 9：20～10：30

2 時限 10：40～11：50

昼休み 11：50～12：50

3 時限 12：50～14：00

4 時限 14：10～15：20

5 時限 15：30～16：40

成績評価の基準・方法	
(概要)	
◎本校は、各学年において総時間数の 80%以上の履修及び単位制とする。	
◎単位修得の規定は次の通りとする。	
● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。	
・学期ごとの出席率が 80%以上であること。	
・学期末試験の評価が 60 点以上であること。	
● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。	
● 各種検定試験に合格した場合。	
◎学期中の出席率の開示はしない。	
※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。	
◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。	

卒業・進級の認定基準
(概要) 本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2 年課程のみ）を授与する。
学修支援等
(概要) 入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアコンサルタントによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7 人 (100%)	0 人 (0%)	7 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容) 卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）) ホテルビジネス実務検定、レストランサービス技能検定、和食検定、等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期面談、保護者連絡・面談、学費分割納入相談、キャリアコンサルタントによるカウンセリング、休学の実施、等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	国際ホテル学科 ウェディング専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	62 単位	18 単位	48 単位	2 単位	0 単位	0 単位
			68 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
58 人の内数		3 人	0 人	4 人	18 人	22 人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
(概要)							
◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。							
◎授業は 1 時限 70 分とする。							
◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。							
< 昼間部 >							
1 時限 9：20～10：30							
2 時限 10：40～11：50							
昼休み 11：50～12：50							
3 時限 12：50～14：00							
4 時限 14：10～15：20							
5 時限 15：30～16：40							
成績評価の基準・方法							
(概要)							
◎本校は、各学年において総時間数の 80％以上の履修及び単位制とする。							
◎単位修得の規定は次の通りとする。							
● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。							
・学期ごとの出席率が 80％以上であること。							
・学期末試験の評価が 60 点以上であること。							
● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。							
● 各種検定試験に合格した場合。							
◎学期中の出席率の開示はしない。							
※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。							
◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。							

卒業・進級の認定基準
(概要) 本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2 年課程のみ）を授与する。
学修支援等
(概要) 入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアコンサルタントによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容) 卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）) ホテルビジネス実務検定、レストランサービス技能検定、和食検定、等			
(備考)（任意記載事項） 2026 年度新設の専攻のため、卒業生、中途退学者なし。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期面談、保護者連絡・面談、学費分割納入相談、キャリアコンサルタントによるカウンセリング、休学の実施、等		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程	国際ホテル学科 ホテルキャリア専攻				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼間	31 単位	11 単位	21 単位	2 単位	0 単位	0 単位
			34 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
58 人		0 人	0 人	4 人	18 人	22 人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
（概要） ◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。 ◎授業は 1 時限 70 分とする。 ◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。 ＜昼間部＞ 1 時限 9：20～10：30 2 時限 10：40～11：50 昼休み 11：50～12：50 3 時限 12：50～14：00 4 時限 14：10～15：20 5 時限 15：30～16：40							
成績評価の基準・方法							
（概要） ◎本校は、各学年において総時間数の 80％以上の履修及び単位制とする。 ◎単位修得の規定は次の通りとする。 ● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。 ・学期ごとの出席率が 80％以上であること。 ・学期末試験の評価が 60 点以上であること。 ● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。 ● 各種検定試験に合格した場合。 ◎学期中の出席率の開示はしない。 ※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。 ◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。							

卒業・進級の認定基準
(概要) 本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書を授与する。
学修支援等
(概要) 入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアコンサルタントによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容) 卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）) ホテルビジネス実務検定、レストランサービス技能検定、和食検定、等			
(備考)（任意記載事項） 2025 年度に在籍者がいなかったため、卒業生、中途退学者なし。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期面談、保護者連絡・面談、学費分割納入相談、キャリアコンサルタントによるカウンセリング、休学の実施、等		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程		国際コミュニケーション学科 英語留学コース キャリアデザイン専攻		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数			開設している授業の種類				
					講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	62 単位			10 単位	42 単位	15 単位	0 単位	0 単位
					67 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
28 人の内数		14 人	0 人	3 人	15 人	18 人			
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）									
（概要） ◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。 ◎授業は 1 時限 70 分とする。 ◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。 ＜昼間部＞ 1 時限 9：20～10：30 2 時限 10：40～11：50 昼休み 11：50～12：50 3 時限 12：50～14：00 4 時限 14：10～15：20 5 時限 15：30～16：40									
成績評価の基準・方法									
（概要） ◎本校は、各学年において総時間数の 80％以上の履修及び単位制とする。 ◎単位修得の規定は次の通りとする。 ● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。 ・学期ごとの出席率が 80％以上であること。 ・学期末試験の評価が 60 点以上であること。 ● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。 ● 各種検定試験に合格した場合。 ◎学期中の出席率の開示はしない。 ※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。 ◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。									

卒業・進級の認定基準
(概要) 本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2 年課程のみ）を授与する。
学修支援等
(概要) 入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアコンサルタントによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4 人 (100%)	0 人 (0%)	4 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容) 卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 実用英語技能検定、TOEIC、等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15 人	1 人	6.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期面談、保護者連絡・面談、学費分割納入相談、キャリアコンサルタントによるカウンセリング、休学の実施、等		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程		国際コミュニケーション学科 英語留学コース 大学編入学専攻		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数			開設している授業の種類				
					講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	62 単位			8 単位	43 単位	15 単位	0 単位	0 単位
					66 単位				
学生総定員数		学生実員		うち留学生数		専任教員数		兼任教員数	
28 人の内数		0 人		0 人		3 人		15 人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）									
（概要） ◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。 ◎授業は 1 時限 70 分とする。 ◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。 ＜昼間部＞ 1 時限 9：20～10：30 2 時限 10：40～11：50 昼休み 11：50～12：50 3 時限 12：50～14：00 4 時限 14：10～15：20 5 時限 15：30～16：40									
成績評価の基準・方法									
（概要） ◎本校は、各学年において総時間数の 80％以上の履修及び単位制とする。 ◎単位修得の規定は次の通りとする。 ● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。 ・学期ごとの出席率が 80％以上であること。 ・学期末試験の評価が 60 点以上であること。 ● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。 ● 各種検定試験に合格した場合。 ◎学期中の出席率の開示はしない。 ※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。 ◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。									

卒業・進級の認定基準
(概要) 本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2 年課程のみ）を授与する。
学修支援等
(概要) 入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアコンサルタントによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容)			
卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
実用英語技能検定、TOEIC、等			
(備考)（任意記載事項）			
2025 年度に在籍者がいなかったため、卒業生、中途退学者なし。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
早期面談、保護者連絡・面談、学費分割納入相談、キャリアコンサルタントによるカウンセリング、休学の実施、等		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程		国際コミュニケーション学科 英語留学1年コース					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数			開設している授業の種類				
					講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼間	31 単位			2 単位	17 単位	15 単位	0 単位	0 単位
					34 単位				
学生総定員数		学生実員		うち留学生数		専任教員数		兼任教員数	
28 人の内数		0 人		0 人		3 人		15 人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）									
（概要） ◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。 ◎授業は 1 時限 70 分とする。 ◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。 ＜昼間部＞ 1 時限 9：20～10：30 2 時限 10：40～11：50 昼休み 11：50～12：50 3 時限 12：50～14：00 4 時限 14：10～15：20 5 時限 15：30～16：40									
成績評価の基準・方法									
（概要） ◎本校は、各学年において総時間数の 80%以上の履修及び単位制とする。 ◎単位修得の規定は次の通りとする。 ● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。 ・学期ごとの出席率が 80%以上であること。 ・学期末試験の評価が 60 点以上であること。 ● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。 ● 各種検定試験に合格した場合。 ◎学期中の出席率の開示はしない。 ※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。 ◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。									

卒業・進級の認定基準
(概要) 本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2 年課程のみ）を授与する。
学修支援等
(概要) 入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアコンサルタントによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容) 卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 実用英語技能検定、TOEIC、等			
(備考)（任意記載事項） 2025 年度に在籍していた 1 名が 2 年コースに変更したため、卒業生、中途退学者なし。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期面談、保護者連絡・面談、学費分割納入相談、キャリアコンサルタントによるカウンセリング、休学の実施、等		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程		国際コミュニケーション学科 韓国語留学コース キャリアデザイン専攻		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼間	62 単位		8 単位	52 単位	11 単位	0 単位	0 単位	
				71 単位					
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
28 人の内数		6 人	0 人	3 人	15 人	18 人			
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）									
(概要)									
◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。									
◎授業は 1 時限 70 分とする。									
◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。									
<昼間部>									
1 時限 9：20～10：30									
2 時限 10：40～11：50									
昼休み 11：50～12：50									
3 時限 12：50～14：00									
4 時限 14：10～15：20									
5 時限 15：30～16：40									
成績評価の基準・方法									
(概要)									
◎本校は、各学年において総時間数の 80％以上の履修及び単位制とする。									
◎単位修得の規定は次の通りとする。									
● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。 ・学期ごとの出席率が 80％以上であること。 ・学期末試験の評価が 60 点以上であること。									
● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。									
● 各種検定試験に合格した場合。									
◎学期中の出席率の開示はしない。									
※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。									
◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。									

卒業・進級の認定基準
(概要) 本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2 年課程のみ）を授与する。
学修支援等
(概要) 入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアコンサルタントによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容) 卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 韓国語能力検定、実用英語技能検定、TOE I C、等			
(備考)（任意記載事項） 2026 年度新設のコースのため、卒業生、中途退学者なし。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期面談、保護者連絡・面談、学費分割納入相談、キャリアコンサルタントによるカウンセリング、休学の実施、等		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程		国際コミュニケーション学科 韓国語留学コース 大学編入学専攻		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数 62 単位			開設している授業の種類				
					講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間				8 単位	51 単位	11 単位	0 単位	0 単位
					70 単位				
学生総定員数		学生実員		うち留学生数		専任教員数		兼任教員数	
28 人の内数		0 人		0 人		3 人		15 人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）									
（概要） ◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。 ◎授業は 1 時限 70 分とする。 ◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。 ＜昼間部＞ 1 時限 9：20～10：30 2 時限 10：40～11：50 昼休み 11：50～12：50 3 時限 12：50～14：00 4 時限 14：10～15：20 5 時限 15：30～16：40									
成績評価の基準・方法									
（概要） ◎本校は、各学年において総時間数の 80%以上の履修及び単位制とする。 ◎単位修得の規定は次の通りとする。 ● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。 ・学期ごとの出席率が 80%以上であること。 ・学期末試験の評価が 60 点以上であること。 ● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。 ● 各種検定試験に合格した場合。 ◎学期中の出席率の開示はしない。 ※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。 ◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。									

卒業・進級の認定基準
(概要) 本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2 年課程のみ）を授与する。
学修支援等
(概要) 入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアコンサルタントによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容) 卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 韓国語能力検定、実用英語技能検定、TOE I C、等			
(備考)（任意記載事項） 2026 年度新設のコースのため、卒業生、中途退学者なし。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期面談、保護者連絡・面談、学費分割納入相談、キャリアコンサルタントによるカウンセリング、休学の実施、等		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程		国際コミュニケーション学科 韓国語留学1年コース					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数			開設している授業の種類				
					講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼間	31 単位			2 単位	21 単位	11 単位	0 単位	0 単位
					34 単位				
学生総定員数		学生実員		うち留学生数		専任教員数		兼任教員数	
28 人の内数		0 人		0 人		3 人		15 人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）									
（概要） ◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。 ◎授業は 1 時限 70 分とする。 ◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。 ＜昼間部＞ 1 時限 9：20～10：30 2 時限 10：40～11：50 昼休み 11：50～12：50 3 時限 12：50～14：00 4 時限 14：10～15：20 5 時限 15：30～16：40									
成績評価の基準・方法									
（概要） ◎本校は、各学年において総時間数の 80%以上の履修及び単位制とする。 ◎単位修得の規定は次の通りとする。 ● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。 ・学期ごとの出席率が 80%以上であること。 ・学期末試験の評価が 60 点以上であること。 ● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。 ● 各種検定試験に合格した場合。 ◎学期中の出席率の開示はしない。 ※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。 ◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。									

卒業・進級の認定基準
(概要) 本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2 年課程のみ）を授与する。
学修支援等
(概要) 入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアコンサルタントによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容) 卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 韓国語能力検定、実用英語技能検定、TOE I C、等			
(備考)（任意記載事項） 2026 年度新設のコースのため、卒業生、中途退学者なし。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期面談、保護者連絡・面談、学費分割納入相談、キャリアコンサルタントによるカウンセリング、休学の実施、等		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程		国際コミュニケーション学科 多言語コミュニケーションコース キャリアデザイン専攻		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数			開設している授業の種類				
					講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	62 単位			14 単位	59 単位	0 単位	0 単位	0 単位
					73 単位				
学生総定員数		学生実員		うち留学生数		専任教員数		兼任教員数	
28 人の内数		25 人		0 人		3 人		15 人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）									
（概要） ◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。 ◎授業は 1 時限 70 分とする。 ◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。 ＜昼間部＞ 1 時限 9：20～10：30 2 時限 10：40～11：50 昼休み 11：50～12：50 3 時限 12：50～14：00 4 時限 14：10～15：20 5 時限 15：30～16：40									
成績評価の基準・方法									
（概要） ◎本校は、各学年において総時間数の 80％以上の履修及び単位制とする。 ◎単位修得の規定は次の通りとする。 ● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。 ・学期ごとの出席率が 80％以上であること。 ・学期末試験の評価が 60 点以上であること。 ● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。 ● 各種検定試験に合格した場合。 ◎学期中の出席率の開示はしない。 ※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。 ◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。									

卒業・進級の認定基準
(概要) 本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2 年課程のみ）を授与する。
学修支援等
(概要) 入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアコンサルタントによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6 人 (100.0%)	0 人 (0%)	6 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容) 卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 実用英語技能検定、TOEIC、HSK 中国語検定、韓国語能力試験 TOPIK、等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17 人	2 人	11.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期面談、保護者連絡・面談、学費分割納入相談、キャリアコンサルタントによるカウンセリング、休学の実施、等		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程		国際コミュニケーション学科 多言語コミュニケーションコース 大学編入学専攻		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数			開設している授業の種類				
					講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	62 単位			12 単位	60 単位	0 単位	0 単位	0 単位
					72 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
28 人の内数		3 人	0 人	3 人	15 人	18 人			
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）									
（概要） ◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。 ◎授業は 1 時限 70 分とする。 ◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。 ＜昼間部＞ 1 時限 9：20～10：30 2 時限 10：40～11：50 昼休み 11：50～12：50 3 時限 12：50～14：00 4 時限 14：10～15：20 5 時限 15：30～16：40									
成績評価の基準・方法									
（概要） ◎本校は、各学年において総時間数の 80％以上の履修及び単位制とする。 ◎単位修得の規定は次の通りとする。 ● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。 ・学期ごとの出席率が 80％以上であること。 ・学期末試験の評価が 60 点以上であること。 ● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。 ● 各種検定試験に合格した場合。 ◎学期中の出席率の開示はしない。 ※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。 ◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。									

卒業・進級の認定基準
(概要) 本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2 年課程のみ）を授与する。
学修支援等
(概要) 入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアコンサルタントによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容) 卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 実用英語技能検定、T O E I C、HSK 中国語検定、韓国語能力試験 TOPIK、等			
(備考)（任意記載事項） 2025 年度に在籍者がいなかったため、卒業生、中途退学者なし。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期面談、保護者連絡・面談、学費分割納入相談、キャリアコンサルタントによるカウンセリング、休学の実施、等		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程		国際コミュニケーション学科 多言語コミュニケーション 1年コース					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数 31 単位			開設している授業の種類				
					講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼間				6 単位	34 単位	0 単位	0 単位	0 単位
					40 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
28 人の内数		0 人	0 人	3 人	15 人	18 人			
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）									
（概要） ◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。 ◎授業は 1 時限 70 分とする。 ◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。 ＜昼間部＞ 1 時限 9：20～10：30 2 時限 10：40～11：50 昼休み 11：50～12：50 3 時限 12：50～14：00 4 時限 14：10～15：20 5 時限 15：30～16：40									
成績評価の基準・方法									
（概要） ◎本校は、各学年において総時間数の 80%以上の履修及び単位制とする。 ◎単位修得の規定は次の通りとする。 ● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。 ・学期ごとの出席率が 80%以上であること。 ・学期末試験の評価が 60 点以上であること。 ● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。 ● 各種検定試験に合格した場合。 ◎学期中の出席率の開示はしない。 ※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。 ◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。									

卒業・進級の認定基準
(概要) 本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書を授与する。
学修支援等
(概要) 入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアコンサルタントによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1 人 (100%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	1 人 (100%)
(主な就職、業界等) 旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容) 卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 実用英語技能検定、T O E I C、HSK 中国語検定、韓国語能力試験 TOPIK、等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期面談、保護者連絡・面談、学費分割納入相談、キャリアコンサルタントによるカウンセリング、休学の実施、等		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程		ファッションビジネス学科 ファッションアドバイザー専攻		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数			開設している授業の種類				
					講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	62 単位			21 単位	52 単位	1 単位	0 単位	0 単位
					74 単位				
学生総定員数		学生実員		うち留学生数		専任教員数		兼任教員数	
28 人の内数		10 人		0 人		2 人		23 人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）									
（概要） ◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。 ◎授業は 1 時限 70 分とする。 ◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。 ＜昼間部＞ 1 時限 9：20～10：30 2 時限 10：40～11：50 昼休み 11：50～12：50 3 時限 12：50～14：00 4 時限 14：10～15：20 5 時限 15：30～16：40									
成績評価の基準・方法									
（概要） ◎本校は、各学年において総時間数の 80%以上の履修及び単位制とする。 ◎単位修得の規定は次の通りとする。 ● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。 ・学期ごとの出席率が 80%以上であること。 ・学期末試験の評価が 60 点以上であること。 ● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。 ● 各種検定試験に合格した場合。 ◎学期中の出席率の開示はしない。 ※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。 ◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。									

卒業・進級の認定基準
(概要) 本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2 年課程のみ）を授与する。
学修支援等
(概要) 入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアコンサルタントによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4 人 (100%)	0 人 (0%)	3 人 (75.0%)	1 人 (25.0%)
(主な就職、業界等) 旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容) 卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）) リテールマーケティング検定、ファッション販売能力検定、ファッションビジネス能力検定、パーソナルカラリスト検定、等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	4 人	28.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期面談、保護者連絡・面談、学費分割納入相談、キャリアコンサルタントによるカウンセリング、休学の実施、等		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程		ファッションビジネス学科 トータルコーディネート専攻		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数			開設している授業の種類				
					講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	62 単位			17 単位	60 単位	1 単位	0 単位	0 単位
					78 単位				
学生総定員数		学生実員		うち留学生数		専任教員数		兼任教員数	
28 人の内数		3 人		0 人		2 人		23 人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）									
（概要）									
◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。									
◎授業は 1 時限 70 分とする。									
◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。									
< 昼間部 >									
1 時限 9 : 20 ~ 10 : 30									
2 時限 10 : 40 ~ 11 : 50									
昼休み 11 : 50 ~ 12 : 50									
3 時限 12 : 50 ~ 14 : 00									
4 時限 14 : 10 ~ 15 : 20									
5 時限 15 : 30 ~ 16 : 40									
成績評価の基準・方法									
（概要）									
◎本校は、各学年において総時間数の 80% 以上の履修及び単位制とする。									
◎単位修得の規定は次の通りとする。									
● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。									
・ 学期ごとの出席率が 80% 以上であること。									
・ 学期末試験の評価が 60 点以上であること。									
● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。									
● 各種検定試験に合格した場合。									
◎学期中の出席率の開示はしない。									
※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。									
◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。									

卒業・進級の認定基準
(概要) 本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書及び専門士の称号（2 年課程のみ）を授与する。
学修支援等
(概要) 入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアコンサルタントによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容) 卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）) リテールマーケティング検定、ファッション販売能力検定、ファッションビジネス能力検定、パーソナルカラリスト検定、等			
(備考)（任意記載事項） 2025 年度に在籍者がいなかったため、卒業生、中途退学者なし。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期面談、保護者連絡・面談、学費分割納入相談、キャリアコンサルタントによるカウンセリング、休学の実施、等		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程	ファッションビジネス学科 ファッションキャリア専攻				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼間	31 単位	13 単位	26 単位	1 単位	0 単位	0 単位
			40 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
28 人		0 人	0 人	2 人	23 人	25 人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
(概要)							
◎授業週数は、前期 17 週及び後期 17 週の計 34 週とする。							
◎授業は 1 時限 70 分とする。							
◎授業日は原則として月曜日から金曜日の週 5 日制とし、1 日の授業時間は次の通りとする。							
< 昼間部 >							
1 時限 9：20～10：30							
2 時限 10：40～11：50							
昼休み 11：50～12：50							
3 時限 12：50～14：00							
4 時限 14：10～15：20							
5 時限 15：30～16：40							
成績評価の基準・方法							
(概要)							
◎本校は、各学年において総時間数の 80%以上の履修及び単位制とする。							
◎単位修得の規定は次の通りとする。							
● 各授業科目については、以下 2 つの条件が認定された場合、単位修得となる。							
・学期ごとの出席率が 80%以上であること。							
・学期末試験の評価が 60 点以上であること。							
● 学科別研修に参加し、修了したと認められた場合。							
● 各種検定試験に合格した場合。							
◎学期中の出席率の開示はしない。							
※学期末試験等の実施については、試験施行細則を別に定めている。							
◎本校では、客観的な指標による成績評価として、GPA による成績評価を実施している。							

卒業・進級の認定基準
(概要) 本校では、進級及び卒業の認定について以下の方針を定め、適正に運用している。 進級・卒業の認定 ◎進級は、別に定める進級認定単位数以上を修得し、出席率が総時間数の 80%以上である場合に認定する。 ◎卒業は、別に定める卒業認定単位数以上を修得し、出席率が 1 年毎に総時間数の 80%以上を履修した場合に認定する。 ◎卒業の認定を受けた者は、卒業証書を授与する。
学修支援等
(概要) 入学前オリエンテーションの実施、資格取得サポート、担任・キャリアコンサルタントによる面談・相談、各種経済的支援制度、等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 旅行会社、ホテル、婚礼業、小売業等			
(就職指導内容) 卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等			
(主な学修成果（資格・検定等）) リテールマーケティング検定、ファッション販売能力検定、ファッションビジネス能力検定、パーソナルカラリスト検定、等			
(備考)（任意記載事項） 2025 年度に在籍者がいなかったため、卒業生、中途退学者なし。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期面談、保護者連絡・面談、学費分割納入相談、キャリアコンサルタントによるカウンセリング、休学の実施、等		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
全学科共通	120,000 円	618,000 円	205,000 円	設備維持費、教育充実料
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
ホームページ http://www.mbc.ac.jp		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校教育及び学校運営について、現状を点検し改善を図るための自己点検・自己評価を実施し、その報告書に基づき、学校関係者評価委員会による学校関係者評価を年2回実施する。 評価項目：教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生受入れ募集、財務、法令等の遵守、社会貢献・地域貢献、国際交流 評価委員の構成 業界団体から1名、各学科関連企業から各1名、計5名で構成。 評価結果の活用 当該年度の評価や意見を基に、改善案をまとめ翌々年度以降の学校運営及び教育活動に反映させ改善を目指す。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
公益財団法人 日本ケアフィット共育機構	2025.4.1～2027.3.31	業界団体等委員
名鉄観光サービス株式会社	2025.4.1～2027.3.31	企業等委員
仙台ターミナルビル株式会社	2025.4.1～2027.3.31	企業等委員
株式会社 Two of Us	2025.4.1～2027.3.31	企業等委員
株式会社留学ジャーナル	2025.4.1～2027.3.31	企業等委員
第三者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
ホームページ http://www.mbc.ac.jp		

(備考)
第三者評価未実施

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

ホームページ <http://www.mbc.ac.jp>